



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

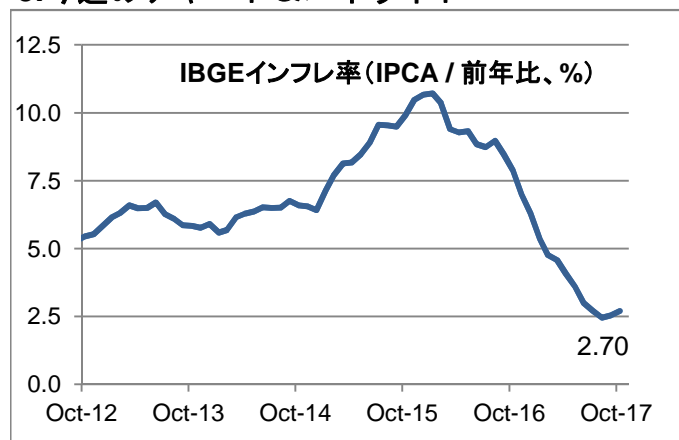
			11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	11月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2520	3.2730	3.2510	3.2510	3.2840	+0.0330
	BRL/JPY	Spot	34.98	34.79	35.00	34.81	34.60	-0.21
	EUR/USD	Spot	1.1605	1.1587	1.1595	1.1649	1.1668	+0.0019
	USD/JPY	Spot	113.76	113.87	113.78	113.16	113.60	+0.44
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.989	6.990	6.965	6.964	6.952	-0.011
	Future	1Year(p.a.)	7.163	7.185	7.125	7.143	7.146	0.003
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.352	2.351	2.389	2.413	2.412	-0.001
	USD	1Year(p.a.)	2.542	2.540	2.566	2.573	2.607	+0.034
株式	Bovespa指数		74,310.79	72,460.25	74,363.13	72,930.69	72,165.63	-765.06
CDS	CDS Brazil 5y		171.58	175.72	177.49	178.94	179.55	+0.61
商品	CRB指数		192.568	191.847	191.891	191.869	191.648	-0.221

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.23台まで上昇後、週末にかけて3.28台へ売り戻される展開。
- 週初のレアルは3.3140で寄り付いた。原油価格の上昇を背景に資源国通貨が買われたことでレアルは3.25台へ上昇。その後もテメル大統領による連立与党内での年金改革法案の審議進展に向けた動きが好感されて底堅い値動きが続いた。週後半には米税制改革が難航するとの見方からドルが下落。レアルは高値3.2380まで買われたが、連立与党を組むブラジル社会民主党(PSDB)において党内の亀裂から暫定党首が解任されたことが嫌気され、週末にかけて反落。結局、3.2840で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.73%、2018年は2.50%でそれぞれ据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.08%、2018年は4.02%で据え置き。為替レートは2017年末が3.19から3.20へレアル安方向に小幅修正され、2018年末は3.30で据え置かれた。
- テメル大統領は今週、連立与党の主要メンバーと年金改革の修正案について協議を継続した。年金支給開始年齢の引き上げについては修正を行わず、当初案で示されていた赤字削減効果の50%以上を維持する姿勢を見せている。但し、憲法改正を要する法案内容が維持される中、議会での可決は引き続き難航が予想されている。
- 6日、サウジアラビアで汚職を理由に数十人の王族・政府要人が拘束された。同国の政治が不安定になるとの警戒感から原油相場が上昇。WTI原油先物は1バレル57ドル台まで上げ、2015年7月以来の高値を付けた。

3. 今週のチャート&ハイライト



10月の伯インフレ率は引き続き低い水準が継続

今週発表された10月の伯インフレ率(IPCA)は前年比+2.70%となった。電気料金の値上げが主な要因となり前月9月の+2.54%から伸びが上昇したが、引き続き伯中銀・財務省が設定する目標レンジ(3.0%-6.0%)を下回る水準が継続した。発表後も伯中銀による金融緩和見通しは変わらず、市場では次回12月COPOMで0.50%の追加利下げが行われ、政策金利は過去最低水準となる7%まで低下すると見られている。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.25—3.35

来週のレアルは揉み合う展開を予想する。国内では年金改革法案の進展に注目が集まるが、来週は15日(水)が伯祝日となっており、政府からの修正案が示されるのは再来週になる可能性が高いと見られている。修正案の協議を巡る動きを睨みつつ、レアルは方向感を欠く動きが続くものと見られる。
来週は14日に9月の伯小売売上高、17日に9月のIBGEサービス部門売上高が発表される。緩やかな景気回復が予想される中、第3四半期GDPを占う上で結果に注目したい。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.36%	0.31%	0.22%
ブラジル	IGP-M Inflation 1st Preview	0.14%	-0.02%	0.32%
ブラジル	IBGEインフIPCA(前月比)	0.49%	0.42%	0.16%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	2.76%	2.70%	2.54%
米	シカゴ大学消費者マインド	100.8	97.8	100.7

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	11/13	貿易収支(週次)	Nov/12	--	--
ブラジル	11/13	税金	Oct	115000m	105595m
ブラジル	11/14	小売売上高(前月比)	Sep	0.2%	-0.5%
ブラジル	11/14	広義小売売上高(前月比)	Sep	0.8%	0.1%
米	11/14	PPI 最終需要(前月比)	Oct	0.1%	0.4%
米	11/15	消費者物価指数(前月比)	Oct	0.1%	0.5%
米	11/15	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Nov	25.0	30.2
米	11/15	小売売上高速報(前月比)	Oct	0.0%	1.6%
ブラジル	11/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Nov	0.08%	0.49%
ブラジル	11/16	FGV CPI IPC-S	Nov/15	0.39%	0.36%
米	11/16	鉱工業生産(前月比)	Oct	0.5%	0.3%
米	11/16	NAHB住宅市場指数	Nov	67	68
ブラジル	11/17	FIPE CPI-週次	Nov/15	--	0.31%
ブラジル	11/17	IBGEサービス部門売上高 前年比	Sep	-2.5%	-2.4%
米	11/17	住宅着工件数	Oct	1190k	1127k

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。